

中村さんの発想の源は、奥様の大きな包容力に支えられているのだ。
なつぱり。
その主人公について都子さんは、
彼のコレクションや情報のおかげで、
私も含めスタッフがいろいろなアイ
デアを思いつくことができるんです」

子どもの頃、芸能好きの祖母ヨシさんに連れられて観に行ったのが映画との出会い。ヨシさんの血を引いてか、大学生の頃は学校に行かずに毎日最低1本は観ていたほどの映画好きだ。そのため大学には5年間通うはめになったらしい……



100冊以上のパンフレットの中でも、コスター・ガプラス監督、イヴ・モンタン主演の政治三部作「告白」「戒厳令」「Z」は宝物。最新作の「チャーリーとチョコレート工場」もチェックし、「さすが、ティム・バートン(監督)だよね~」と絶賛



「同じ雑誌を何冊も買い集めるのはポストカード撮影のため」と言っていたが、高校生の頃から同じデザインの「花椿」のチラシを何枚も集めていたことが発覚!

コレクションの一つ、香水瓶。香りよりも瓶のデザインに惹かれて買うことが多い。中には、中村さんの香水好きを知った雑誌「ミセス」の編集長など知人がプレゼントしてくれたもの。それぞれの横文字の名前もすらすらと出てきて、脱帽!

ハロルフア

ジャン・ポール・ゴルチエの「フラジャイル」(写真右端)は香りも気に入り、ふだんから身に付けている



瓶のデザインだけでなく、瓶を入れる箱もおしゃれ。それを指摘すると、「でしょう~」と目尻が下がる



中村さんの趣味の一つは、ポストカード用の写真(右ページ撮影)。内容は自然の草花や街並みのほか、本、雑誌、CDのジャケット、香水瓶、アクセサリー、大ブレイク中のブラライドードルと様々だが、実物の色を自然光で美しく忠実に表現している点と、アングルや配置に抜群のセンスを感じさせる点はすべてに共通しており、さすが! しかしその一方で、「同じ雑誌や本を複数購入して一面に並べる」レイアウトに執着する、ユニークな一面も見逃せない。

それ以上に驚かされたのは、撮影対象のファッション誌や香水瓶、ブライスドール、映画のパンフレットなどがすべて、中村さんのコレクションの一部だということ。もちろん、それだけ知識は多岐に渡っている。

さらに、大の甘党とあつてスイーツに関してもかなりの情報通。話題の「ロミ・ユニ コンフィチュール」のジャムが食べたくて鎌倉市に日帰りで出かけた、という逸話も持つ。

そんな主人公について都子さんは、彼のコレクションや情報のおかげで、私も含めスタッフがいろいろなアイデアを思いつくことができるんです」



実はその理由は、中村さんがこんな愛らしい「趣味」「收集癖」を持っているから。タグに象徴されるように、中村さんには「老舗の三代目」と、「可愛いもの・甘いもの好きのキュートなおじさん」の2つの顔があったのだ!